

令和6年12月13日

全員協議会資料①

福祉子ども部 健康・子育て支援室

名張あんしん出産・子育て応援事業について

1. 趣旨

令和7年1月から市内に分娩取扱施設がなくなることを受け、妊婦や子育て世帯が安心して出産、子育てができるよう、これまで取り組んできた名張版ネウボラの拡充を行います。

2. 市民アンケート調査の結果

市内唯一の分娩取扱施設が令和7年1月15日をもって分娩を取りやめるとの発表を受け、今後本市が行う妊娠・出産・子育て支援等を検討するに当たり、市民のニーズを把握するためにアンケート調査を実施しました。

- ・調査期間：令和6年11月1日～同月7日
- ・調査方法：Webによる回答
- ・回答者数 589人
- ・回答結果 資料②「子育て支援（妊娠・出産）に関するアンケート調査結果」のとおりです。

3. 事業概要

市民アンケート調査の結果を踏まえ、妊娠・出産・子育て支援等についての検討を行い、次の事業を実施します。

(1) 妊婦にやさしい遠方出産支援事業 [令和7年2月開始予定]

伊賀地域内での分娩が困難で、かかりつけの分娩取扱施設が遠方にある場合の分娩時の移動に掛かる往復の交通費及び出産までの間に分娩取扱施設の近くで待機するための宿泊施設の宿泊費（出産時の入院前の前泊分）の助成を行うことにより、妊婦の経済的負担の軽減を図ります。

区分	助成内容
交通費	移動に要した費用の8割 ・ 自家用車の場合は移動距離1キロメートルにつき37円を乗じて得た額の8割 ・ 公共交通機関（電車・バス・タクシー）の場合は運賃実費額の8割
宿泊費	1泊当たり実費額（10,700円を上限とします。）から、2,000円を控除して得た額

補正予算額
(歳入内訳)

(千円)

区 分	予算額	説 明
県支出金	250	みえ子ども・子育て応援総合補助金 (1/2)
一般財源	250	
歳入合計	500	

(歳出性質別内訳)

(千円)

区 分	予算額	説 明
補助費等	500	交通費 347 宿泊費 153
歳出合計	500	

(2) 妊婦情報事前登録制度 [令和7年2月開始予定]

安心して妊娠・出産ができる体制を整備するため、妊婦は出産予定日や母体の状況等を事前登録することができます。出産の兆候が始まり急を要する状態であり、公共交通機関（電車、バス、タクシー）の利用が困難で、親族等の周囲の搬送サポートも得られない場合には、かかりつけの産科医療機関に相談し、医師等の指示の下、救急車を要請します。

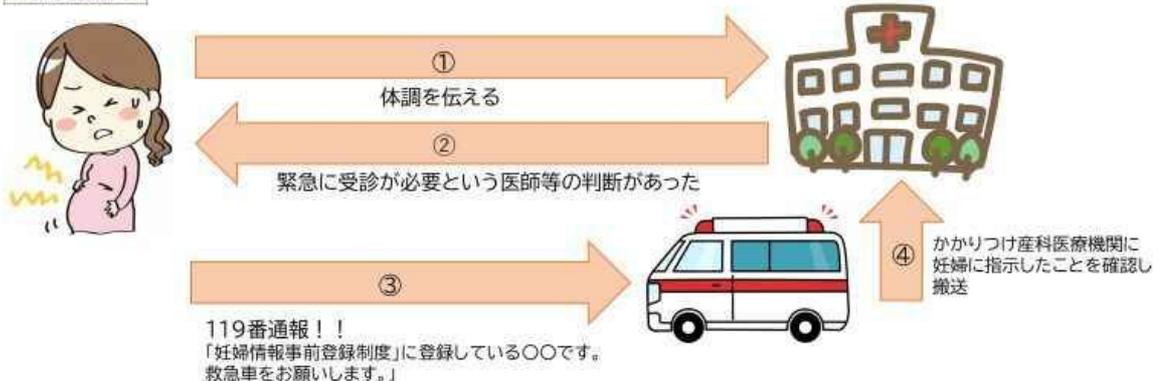
事前登録しておく



利用条件

- ・体に異常が生じた場合又は出産の兆候が始まった場合、公共交通機関の利用が困難若しくは親族等周囲の搬送サポートが得られず、医師が緊急に受診する必要があると判断した場合
- ・その他緊急を要する場合

利用の流れ



(3) 産婦人科・小児科オンライン相談事業 [令和7年2月開始予定]

24時間365日いつでも医師（産婦人科・小児科）・助産師にオンラインで相談ができる体制を整備し、妊娠・出産・子育てをより手厚くサポートします。

いつでも相談

- 毎日24時間、質問を受付
- 原則24時間以内に医師/助産師より回答送付



夜間相談

- 平日18時～22時（1枠10分の予約制）
- **メッセージチャット**や**動画通話**に対応



日中助産師相談

- 月・水・金13時～17時
- **予約なし**で助産師とメッセージチャットが可能



医療記事配信

- 小児科医/産婦人科医/助産師が執筆した記事をメールやLINEで配信

オンラインLIVE配信

- 授乳や卒乳、離乳食などに関する動画をLIVE配信

産後うつフォロー

- 産後1年まで定期的にスクリーニングを実施

(4) 産後ケア事業（デイサービス型） [令和7年4月開始予定]

退院直後の母子に対して心身のケアや育児サポート等を行い、産後も安心して子育てができる支援体制を確保するため、赤目保育所内に産後ケア事業（デイサービス型）を新設します。

サービス内容

お母さんへのサービス	赤ちゃんへのサービス
健康状態チェック	健康状態チェック
乳房の手当て、乳房トラブルへのケア	体重及び排泄のチェック
授乳方法に関する助言・指導	発育及び発達のチェック
沐浴に関する助言・指導	人工ミルクの授乳
在宅での育児に関する助言・指導	
カウンセリングなど心理面のケア	
休息時間の確保・指導	

※産後ケア事業の利用は、原則として7日間です。